

(令和5年度)
自己評価書

園番号	園名
627	奈良市立六条幼稚園

627奈良市立六条幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
I 教育・保育活動に関するもの	(1) 教育・保育目標/計画	① 教育・保育目標の設定	・幼稚園教育要領の示すところに従い教育課程や園教育目標、園ビジョンを見直し、学びの基礎となるよう職員全員で共通理解をする。 ・学校評議員や保護者に園評価のアンケートを実施し、評価を検証して公表し、次年度に活かす。	・教育目標や教育課程を再度共通理解することで、幼稚園教育において育みたい資質や能力を踏まえた保育内容を実践できた。取り組みの継続の大切さを再確認できた。 ・保護者や地域の方々に園の取り組みや園児の育ちを積極的に伝えたり、アンケートの結果を配布し、説明会を開いたりしたことで幼児教育の啓発に繋がった。	A	・園の教育目標を達成するために、職員が地域の教育力を活用しながら保育の創意工夫に取り組むことができたように思われる。 ・園評価アンケートに様々な経験が主体的に活動する子どもの土台になっているまた、一人一人を大切にしたい教育活動の実践であったとの評価を得た	・職員でそれぞれの悩みを話し合いその都度解決法を検討していく。また、子どもの遊びの中から環境や保育内容を振り返りを大切にし、更に取り組みを積み重ねていく。 ・園評価を検証し、改善点を見つけながら、次年度に活かしていく。
		② 教育・保育計画の作成			A		
		③ 教育課程/全体的な計画の編成			B		
		④ 教育・保育活動の評価			A		
	(2) 教育・保育内容/指導	① 指導計画の立案	・園児の育みたい姿を明確にし、園の実態や子どもの興味にあった保育内容を職員間で話し合い、環境構成の工夫や援助・指導方法の改善に努める。 ・日々の振り返りを大切にして、評価・反省し、保育内容や指導法を学びあい、次への保育の展開を考えて保育内容を充実させ、自らの資質や指導力の向上に努める。	・教育ビジョンを念頭に置き、子どもの実態から保育内容を考え、指導方法も工夫改善できるよう職員間で確認しあった。また、具体的な保育内容は繰り返し職員間で検討を重ね実践するように努めた。 ・事例研修や中堅研修・公開保育での研修などで職員の質を高めることができた。	B	・地域で決める学校予算事業や菜の花プロジェクトの取り組みを見直したり、子どもの実態や学びにつながる保育内容を見直し実践した。 ・子どもの喜ぶ姿や成長が保護者にも伝わり、教育内容の評価がよくなった。	・個々の保育者が教材研究に努めると共に園内研究会の実施及び園外研修への参加等、環境構成の工夫や援助の在り方について学び合うようにする。 ・育てたい子ども像を常に意識し、現状に満足せず、保育内容や指導方法を高め合っていくことでより活性
		② 保育内容の精選			A		
		③ 指導方法の工夫改善			A		
		④ 評価			A		
	(3) 園行事	① 指導計画の立案	・子どもの豊かな感性や情緒を育むために季節や発達に応じた指導計画の見直しを行い、主体的に取り組める内容の工夫をする。 ・園・家庭・地域がつながるような園行事を行い、子ども達にとってより豊かな経験ができるようにする。	・職員間で園行事を計画する際に子どもの実態に合っているか、行事への取り組み方等を確認し、各担当者が計画・立案し取り組みを進めることができた。 ・行事内容を全職員で検討したり、行事の事前事後に話し合いを持つようにした。次年度の活動に活かせるように記録をきちんと残すように努めた。	A	・園児一人一人の成長を行事を通して保護者とともに共有できたことや、行事を見直すことが、伝統的な行事(菜の花プロジェクト等)を継承することにも繋がった。	・行事の内容やねらいを常に職員間で話し合い、子どもにとって有意義な活動となるよう今後も保護者や地域の方々の協力を得ながら活動を今後も続けていきたい。
		② 行事内容の精選			A		
	(4) 人権教育	① 人権教育指導計画の立案	・年間計画を教職員間で共通理解する。 ・自分を大切にすると共に、相手への思いやりの気持ちや育つような保育を立案し取組を進める。 ・子どもの思いや存在を尊重したり互いの個性を認め合うような保育実践を行う。	・友達と遊ぶ中で楽しさや喜びを味わったり、自分とは違う考えがありそれを受け入れたりすることで、互いを認め合い、困難なことも乗り越えていく経験ができた。いろいろな場面でみんなで話し合う機会を持ったことで共に支え合う仲間づくりができた。	B	・保護者の人権意識を高めるための保育参観や学級懇談会を計画的に実施できたか。クラスでの課題を全職員の問題として協議し、良い方向性を見いだせたか検証する。	・保護者に参観や懇談で、具体的な子どもの姿を知らせ話し合ったり、子育てに関する相談会を持つたりする等保護者の人権意識を高める啓発を積み重ねていく。
		② 保育内容の精選			B		
		③ 指導方法の工夫改善			B		
	(5) 生徒指導	① 組織的な指導	・情報を共有する。 ・園の教育内容が理解されている ・情報の保持と信頼関係を構築する。	・全職員が情報を出し合い、早期発見・対応に努めるようにした。情報交換したことで互いの実態が明らかになり課題を明確にすることが出来た。 ・兄弟関係においては互いに情報提供しながら連携し合った。	B	・気になる子どもの様子をしっかりとらえ、報告・連絡・相談をし、初期の対応ができたか。また担任だけでなく、職員全員が常に園児の様子を見て、幼児理解をするようにした。 ・日頃より子ども、保護者の些細な変化を見逃さず、カンファレンスで共有し、共に対策を考えた。 ・職員は園児の家庭での実態や園での様子を把握し、共通理解をするとともに、全職員で何かがあれば迅速に対応できるようにした。	・全職員が出来事や問題を把握し、共通理解をしていく。 ・気になる事象があれば、迅速に対応できるように常に心がける。 ・様々な園児や保護者の悩みや問題を全職員が共通理解をして、問題解決に取り組んでいく。 ・関係機関と連絡を取り合い、連携を深めて子どもや保護者の支援にあたる。
		② 教育相談・幼児理解			A		
		③ 家庭との連携			A		
		④ 関係諸機関との連携			B		
		⑤ いじめ・児童虐待問題について	・対処方針や指導計画が明確である	・保育後、職員で保育の振り返りや問題点を報告し合う機会をもつようにした。また、定期的に保育カンファレンスを行ったり、会議で話題を提案したりしたことでクラスの実態や課題、対策について共有することができた。	B		
			・日頃より実態把握・早期発見に努めている		A		
(6) 特別支援教育	① 推進体制	・年度初めに特別支援コーディネーターを中心に、全職員で該当児の発達や行動の特性やについて確認し合い、めあて、関わり方などについて検討する。 ・個々に応じた適切な指導計画を作成し、子どもの理解と支援の仕方について共通理解をする。 ・個人情報の保護にも細心の注意をはらいながら、保護者との連携を大事にし、話し合いを持って進める。	・支援を要する園児について全職員が共通理解し、特別支援コーディネーターや関係機関の指導助言を受け、職員全員で関わる体制づくりができた。 ・特別支援担当保育士と担任が連携し、その子に応じた支援ができた。必要な時は、担任は家庭訪問を行い、家庭と連携をとった。 ・保護者の思いや悩みを丁寧に受け止め、支援の在り方を話し合うことで同じ方向性をもって支援することができた。	B	・支援の必要な子どもの様子を把握し、報告・連絡・相談を密にして、共通理解に努めた。 ・特別支援コーディネーターと連携しながら、全職員で支援体制づくりをする。 ・研修で学んだことを職員間で共有したり、資料提供したりすることができた。	・個々の指導計画などを定期的に見直し評価するとともに、園の職員が連携しながら子どもにとって適切な支援ができるよう取り組みを進めていく。 ・小学校との情報交換や連携を深めていく。	
	② 個々に応じた特別支援教育の内容			A			
	③ 指導方法の工夫改善			A			
	④ 家庭との連携			A			
	⑤ 関係機関との連携			A			

(令和5年度)
自己評価書

園番号	園名
627	奈良市立六条幼稚園

627奈良市立六条幼稚園

大項目	中項目	小項目	具体的評価項目及び指標	取組と成果	評価	評価の観点・理由	課題及び改善方策
Ⅱ 園 経 営 に 関 す る も の	(1) 組織運営	① 園長のリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> 園の教育目標、園ビジョンに沿った園経営を保護者や地域の方々に伝えて理解を示してもらえるように働きかけ、協力体制づくりをする。 会議は毎月計画的に行い、課題検討の場と行事等の共通理解を図り、園運営に活かす。 職員で共に相談したり、協力し合ったりして園運営に取り組める温かい職場づくりに努める。 評議員や保護者アンケートの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 園ビジョン、園教育目標や研究主題を基に、意欲的に活動し、たくましく生きる子どもの育成を目指した保育を推進することができた。又保護者や地域の教育力を活用することもできた。 職員間のコミュニケーションを大切にし、園内でそれぞれの力を発揮できる体制づくりを行った。 学期ごとに事務分掌の確認を行い、改善点や課題については、より適切に処理できるように改めた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で園ビジョンや教育目標、園主題等、共通理解し職員一人一人が生き生きと教育や保育に邁進することができた。 職員と問題解決に向けて協議したり、連携を図りながら園運営に取り組めたか検証した。 評議員や保護者の方々の評価は大変高く、協力とご理解を得られた。 	<ul style="list-style-type: none"> 園の課題や問題については、全職員で協議、解決策を検討し改善に努めるようにする。 職員数が減少する中で、自分の立場と役割を自覚して積極的に園運営に携われるよう取り組んでいきたい。
		② 園経営目標・方針					
		③ 職員の適正配置と運営への参加意識					
		④ 園務分掌等の連携					
		⑤ 会議の運営と位置づけ					
		⑥ 会議の結果					
		⑦ 職場の人間関係					
		⑧ 園評価の実施					
		⑨					
		⑩					
(2) 研究・研修	① 資質の向上をめざした組織的・計画的な園内研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修会の実施、研修や講演会、事例検討会、リモート研修等に参加して学んだことを報告し、協議する。また、園内で公開保育を行い、他園の職員と共に研修を深めて保育者の資質向上をめざす。 園の特色ある教育活動としての『菜の花プロジェクト』を行い、取り組みを引継いでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> 研究主題「こころとからだで感じ、意欲的に遊び、たくましく生きる子どもの育成」を目指して、保育内容の研究、研修を計画的に積み重ね、継続的に取り組むことができた。 『菜の花プロジェクト』では全職員や保護者、NPOの方々と協力体制で取り組み、今年度も薬師寺や唐招提寺に奉納することができた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 園内研究会を行い、保育内容を共通理解し、他園の職員と保育を見合って協議することで、保育実践力の向上に繋がった。 『菜の花プロジェクト』では油奉納を行い、世界遺産に触れる良い機会となり評議員や保護者のアンケートでも高評価だった。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修や研究に前向きに取り組める環境づくりを大切にし、学んだことを職員で共通理解できるように、引き続き取り組むようにする。 『菜の花プロジェクト』においては今後も引き続き、地域や保護者の協力を得ながら引き続きしていきたい。 	
	② 保育改善を目指した保育研究・実践の実施						
	③ 園外の研修への積極的参加						
	④ 園外研修内容の共有						
	⑤ 研修成果の普及						
(3) 安全管理	① 安全計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で防災計画・危機管理マニュアルを確認し、共通理解しておく。月1回の避難訓練、交通安全指導、引き渡し訓練を実施し、反省評価する。 地域の六条地区自主防災防犯会と連携した地域ぐるみでの安全対策を実施する。 園の施設や設備、感染症対策等園の安全管理に関することに職員全体で対応できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練では、地震・火災・防犯などいろいろな設定で行うことで、命の大切さや自分の身を守る対処方法を知ることができた。園内の不審者対策として小学校にも協力を得ながら、安全面での強化を図ることができた。 引き渡し訓練の実施においては、保護者への危機管理体制の整備につながった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 避難訓練を積み重ねることで安全に避難できるようになったり、防災意識を高めることができた。 幼稚園と小学校が隣接しており、不審者が侵入した際の対応として、連携した対応が大切である。門戸の鍵の施錠を徹底し、防犯意識を高めるように努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 園の施設の老朽化に伴い子どもが日々生活する中の安全面や環境整備等園の安全管理を徹底していく。 引き続き、地域や関係機関、小学校と連携し、安全対策の強化に努める。 	
	② 防災計画の立案						
	③ 危機管理体制の整備						
	④ 安全指導の工夫改善						
	⑤ 家庭との連携						
	⑥ 関係機関との連携						
(4) 保健管理	① 保健計画の立案	<ul style="list-style-type: none"> 健康で安全な生活に必要な習慣や態度の育成のための指導計画を立案したり、保健管理に関するマニュアルの作成、見直しを行う。また、食に関する情報発信をする。 様々な感染症や食物アレルギー等のマニュアルを確認し、対応していく。 園医や関係機関と連携し、園児の健康管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 保健計画に基づく保健指導や健康管理を推進できた。 基本的な生活習慣が身につくよう指導し、長期休暇期間中は保護者の下で適切な保健管理ができるように啓発に努めた。 園から情報を発信していくことで保護者と共に連携しながら健康管理に努めることができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 伝染性の感染症に関しては情報をしっかり把握し、情報提供を迅速に行い対応するよう努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報収集を行い、保健管理に努めるとともに園児、保護者、地域の方等への保健管理に努めるためにも、情報の予防のための啓発（便り、ポスター掲示など）を行う。 	
	② 心のケアや健康相談の体制の整備						
	③ 健康観察、健康管理能力の育成						
	④ 関係機関との連携						
	⑤ 昼食の衛生管理						
(5) 地域との連携	① 園情報の発信	<ul style="list-style-type: none"> H Pや地域回覧「六条ニュース」、コードモン、園内掲示板で取り組みなどを知らせ、理解を深める。 小学校との交流や連携は意見交換とともに、協議していく。 学校評議員や民生委員の外部からの意見を取り入れ、園の教育に活かす。『菜の花プロジェクト』や『ユネスコスクール』などは地域や保護者の方と協力体制の下、共に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方々との関りや保育園、小学校、中学校との交流を計画的に行うことができた。 評議員の方々には運動会・作品展・未就園児活動の見学や子育て相談会への参加等で園の取り組みに高い評価を得た。 評議員会では、園の現状や課題を伝え、意見を聴取し改善に向けて共に考え合うことができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域のゲストティーチャー（英語・運動遊び・お話の会・あそボール）による体験活動や体操教室の実施により、保育内容の充実や学びにつながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も地域への発信の工夫と交流できる場を継続していきたい。また、保育園や小学校との連携を密にし、接続がスムーズになるように同じ地域の課題を共有するようしていきたい。 園での子ども達の様子をH Pや『六条ニュース』で発信し、幼児教育の大切さを啓発していきたい。 	
	② 園(保育)公開						
	③ 小学校との接続・連携						
	④ こ幼保との連携						
	⑤ P T A・保護者会の活性化						
	⑥ 地域教育協議会との連携						
	⑦ 学校関係者評価の実施						
(6) 施設・設備	① 保育環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 施設の美化清掃に努め、危険箇所・修理箇所の整備・日常的な点検・管理を行う。 夏休み前に運動場に防草シートを全面に貼り、草刈り(地域・PTA)の負担軽減につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育に必要な環境の見直しをする。複雑な地形の園舎を工夫して使うようにする。老朽化に伴い補修(台風による窓の破損、玄関の屋根修理、水漏れ対策等)など迅速に行った。夏休休業前に保護者の方に協力してもらい運動場に防草シートを一面に貼った。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備に関しては市と連携をとって迅速な改善に努める。 子どもや保護者の安全安心を守るために日常的な点検管理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員で安全面の点検を行い早急な対応を行う。 子どもの遊びの場を日常的に点検し見直す中で環境整備の工夫を行うようにする。 	
	② 施設設備の有効利用						
	③ 施設設備の管理						
(7) 情報管理	① 公文書の收受・保管	<ul style="list-style-type: none"> 物理的なセキュリティ対策としてパソコン、カメラ等の情報機器の保管管理を徹底する。 人的な情報セキュリティ対策として職員間で情報漏洩防止対策の共通理解をする。 個人情報に関わるデータや、文書の管理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報印刷された文書類の取り扱いや外部の人と接する時の個人情報漏洩に注意するよう取り組んだ。 個人情報が記録された文書、データなどを園外に出さないこと等、職員間で徹底することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報に関する取扱いの整理し職員間で共通理解をする。 不要なデータの消去や個人情報の取り扱いの研修を受け、職員全体で管理を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報に関する情報管理の重要性を理解するとともに、日常的に確認し合い一人一人の意識を高めていけるよう引き続き啓発していく。 	
	② 公文書の作成						
	③ 個人情報の管理・保護						
	④ 情報の収集						
	⑤ 電子媒体の管理						